

東京宣言

我々、RVT2010のメンバー国保健人材管理担当者たちは、保健人材課題の解決に向け、2016年9月6、7日の総会開催、そして8日のTICADVI記念シンポジウムのために集結した。

限られた条件の中においても常に最大限の健康状態を保つことは、ひとの基本的権利であることを鑑み、
技術・経済開発パートナーの支援に限界があることを鑑み、

多くの国がユニバーサルヘルスカバレッジ（UHC）を社会保障政策の一部としていることを鑑み、

このUHCの達成のためには、ニーズに対応する質の高いケアサービスの供給が重要な要素のひとつであることを鑑み、

このケアサービスの供給には、能力と士気の高い保健人材が必要であることを鑑み、

西アフリカ、とりわけ、ギニアにおける、エボラウイルス病の流行が、保健人材を含む多くの犠牲者をもたらしたことを鑑み、

保健人材は、保健システムの強化（パフォーマンスと発展）のための重要な柱の一つであることを再認識し、

RVT2010全メンバー国の保健システム強化に必要な保健人材の能力強化に対する、日本国民の多大な支援に深く感謝し、

この日本の支援が、保健人材の養成、保健人材情報システムの確立、保健人材政策と戦略策定に加えて、研究マインドの醸成、保健人材管理ツールの標準化と調和などについて、メンバー国が、経験とグッドプラクティスの共有を通じて共通課題の解決に取り組むという、新しいアプローチの導入を可能にしたことを再認識し、

保健システム強化に対する、国内、国際的な多方面からのコミットメントや、技術・経済開発パートナー（PTF）の支援と共に行ってきた、我々政府の努力にもかかわらず、保健人材を取り巻く状況は依然、深刻な状態であること認識し、

新興・再興感染症（エボラウイルス病、ラッサ熱等）の流行に直面した時、我々の多くの国の保健システムが脆弱であったという経験を教訓とし、

我々は、呼びかける

我々の政府に対して；

UHC の達成の重要な柱である保健人材開発のための介入をさらに強化すること、

RVT2010 事務局は以下をコミットすること；

- (1) 深刻な危機に陥っている保健人材開発の状況に対して、各メンバー国が効果的かつ持続的な解決策の探求出来るよう支援し、リーダーシップを発揮すること、
- (2) 各メンバー国が毎月の分担金の駆出を含む RVT2010 の永続的な資金工面のメカニズムを提案すること、

我々のパートナー日本に対して；

第一に、アフリカに対する日本の保健分野の介入戦略として、保健システム強化、とりわけ、保健人材開発に対する支援という現在の選択を継続すること、

そして、RVT2010 に対し、技術面と財政面での支援を継続すること、

RVT2010 メンバー国に対して；

特に、貧困や生活状況の厳しさにより脆弱になっている人々が住む地域を対象とする、保健人材の活用可能性、職場・生活環境の改善と定着に重点を置いた政策および戦略計画を策定し、実行していくこと、

世界保健機構（WHO）に対して；

サブサハラアフリカの保健システム強化支援に対する貢献を継続していくこと、とりわけ、保健人材開発支援を拡大していくこと、

2016 年 9 月 8 日

東京に於いて